

4 故障診断方法と処置

モニター表示と原因一覧

■ FF-3510GS・3510GY・4210GS・4210GY

FF-G3810S・G3810Y・G5010S・G5010Y

モニター表示	表示内容	原因
E0	●排気管抜け検知装置が作動した	①排気筒または、排気管の接続箇所、はずれている
		②排気管抜け検知用リード線(灰色)がはずれていたり、断線している
		③排気パイプリング(アース線)がはずれている (FF-3510GS・3510GY・4210GS・4210GYのみ)
E1	●着火動作前にフレーム電圧を検知した	①フレームロッドにカーボンまたは酸化スケールが付着し、バーナ部または風胴などにアースしている
		②フレームロッドが変形し、バーナ部、風胴などにアースしている
		③低圧側のリード線が本体にショート状態で組まれている (はさみ込みがある)
E2 E4	●点火動作をしても着火・炎検知しない ●点火動作後にフレーム電圧が基準レベル以下になった	①油経路の不具合(油が流れない) 1.油タンクに油がない 2.油タンクの送油バルブが閉じている 3.送油ホースが折れている 4.送油経路内に水やごみ、空気が入っている
		②定油面器の不具合(GS・Gタイプのみ) 1.定油面器のフィルタが水やごみで目詰まりしている 2.定油面器がトリップ(油のオーバーフロー防止のために定油面器内のフロートが固定している状態)している
		③送風経路の不具合 1.給排気筒の設置不良のため排気ガスを吸いこんでいる 2.給排気筒が閉塞されている
		④電磁ポンプの故障、端子のはずれまたはリード線が断線している
		⑤燃焼用送風機の故障、端子のはずれまたはリード線が断線している
		⑥フレームロッド及び点火プラグの異常、劣化、端子のはずれ、またはリード線が断線している 1.フレームロッド及び点火プラグにカーボンが付着しバーナヘッド、風胴にアースしている 2.フレームロッド及び点火プラグが劣化している、または表面に絶縁被膜ができています 3.端子のはずれ、または端子の接触不良 4.リード線が断線している
		⑦イグナイタの故障、端子のはずれ、またはリード線が断線している
		⑧低圧側のリード線が本体にショート状態で組まれている (はさみ込みがある)
		⑨標高調整の設定値が合っていない
		⑩延長配管施工の場合は、延長配管分の給気ホースを伸ばしていない(給気ホースの長さ=50cm+延長配管分)
E5	●予熱開始後150秒経過しても気化筒温度が100℃に達しない ●燃焼中気化筒温度が一定温度以下になった	①気化ヒータの断線、またはリード線が断線している
		②ポットサーミスタの断線、または抵抗値の異常
		③バーナサーモスタットに導通がない
E6	●気化筒温度が一定温度以上になった ●ポットサーミスタの短絡	①ポットサーミスタの短絡、または抵抗値の異常
		②炎の状態が異常(バーナヘッドが異常に赤熱している)
		③燃焼用送風機の送風経路に漏れ、破損などがある
		④電磁ポンプの故障
E7	●燃焼用送風機のパルス出力が出ない ●燃焼用送風機の回転数異常	①燃焼用送風機の故障、端子のはずれまたはリード線が断線している
		②送風機に異物のかみ込み、詰まりのため羽根がロックしている

モニター表示	表示内容	原因
E8 (Gタイプのみ)	<ul style="list-style-type: none"> ●対流用送風機のパルス出力が出ない ●対流用送風機の回転数異常 	①対流用送風機の故障、端子はずれ、またはリード線が断線している ②対流用送風機回転センサーの故障、端子はずれ、またはリード線が断線している
表示部 全消灯 または EH	<ul style="list-style-type: none"> ●過熱防止装置(安全サーモスタット)が作動した ●プリント配線板のサーミスタ温度が75℃以上になった ●電源プラグがコンセントに差し込まれていない 	①対流用送風機のフィルタ、ファン羽根、および送風路のほこり詰まり ②対流用送風機の故障、端子はずれ、またはリード線の断線 ③過熱防止サーモスタットの故障、端子はずれ、またはリード線の断線 ④運転中に停電すると過熱防止サーモスタットが作動する場合があります
E9	●対震自動消火装置が作動した	①対震自動消火装置が作動した ②対震自動消火装置の不良、端子のはずれ、またはリード線が断線している ③ストーブがグラグラしている、または水平に設置されていない
EC	●室温異常上昇防止装置が作動した	①ルームサーモが短絡故障している、またはリード線のかみ込みのため短絡している ②ルームサーモが50℃以上を感知した
EE	●停電があった	①運転している状態で1秒以上の停電があった タイマー時刻、および現在時刻もリセットされます ②マイコンが誤動作し記憶していた情報が壊れてしまった
HE	●ガスセンサーが故障した	①ガスセンサーリード線に異常(断線・短絡など)がある ②ガスセンサーの故障
HC HH (点滅) HH (点灯)	<ul style="list-style-type: none"> ●不完全燃焼防止装置が作動した ●連続不完全燃焼通知機能が作動した ●再点火防止機能が作動した 	①ストーブと同じ室内に開放式の燃焼機器があり、換気不足となっている ②ストーブの排気経路に配管外れや穴あきがあり、排気ガスが漏れている ③ガスセンサーの故障(①、②等の要因がないのに作動した場合)

故障診断方法と処置

故障又は、異常と判断する前に次の項目を確認してください。

- 変質灯油や灯油以外の燃料を使用していませんか。
- 誤った設置方法・使用方法をしていませんか。
- ストープ定格電圧AC100V(50/60Hz)と電源電圧は合っていますか。
- 各コネクタは間違いなく、又確実に差し込まれていますか。

■FF-3510GS/GY・4210GS/GY・G3810S/Y・G5010S/Y



モニター表示
表示内容

故障診断方法と処置

参照
ページ

E2

不着火

●点火動作を2回繰り返しても、
フレーム電圧を検知しない



E4

途中消火

●フレーム電圧の低下







